

平成 19 年度附属図書館活動報告書

東京大学附属図書館

はじめに

東京大学附属図書館は、学習・教育・研究活動のために必要不可欠な学術情報を収集・保存して学生・教職員に安定的に提供する役割を有し、東京大学における学術情報の基盤を構成しています。

近年、学術情報の電子化が進み、既存の紙資料と併せたサービスのハイブリッド化が求められる中で、収集・保存・提供という図書館の基本的機能をしっかりと充実させながら、新たなサービスへ挑戦していくことが課題となってきました。また、提供するサービスが多様化する一方、これまで収集・保存してきた図書館資料に含まれる貴重な歴史的資料にも多くの関心が集まるようになり、幅と奥行きを持った図書館活動が求められています。

平成 19 年度は、東京大学創立 130 周年にあたり、全学の記念事業に参画して図書館が継承してきた貴重資料の特別展示を開催したほか、大学図書館の基本的役割に関しては、全学学生用図書予算の恒常化について関係各位のご賛同を得て来年度から措置していただけることとなり、また、基盤的学術雑誌等は全学共通経費の開始初年度として継続的整備に着手することができました。さらに、東京大学の研究成果を学内外に広く発信する学術機関リポジトリの運用拡充を行うと共に、学術論文を簡単に入手できるようにする学術論文横断検索と学術論文リンクを新たなサービスとして導入しました。

その他の諸活動も含め、一年間の事業成果を取りまとめましたので、ここにご報告いたします。

附属図書館は、利用者の皆様により一層活用していただける魅力ある図書館を目指して努力を重ねております。皆様の忌憚のないご意見をお寄せくださるようお願い申し上げます。

平成 20 年 7 月 30 日

東京大学附属図書館長

西 郷 和 彦

目 次

	ページ
1 平成 19 年度の特記事項	
1.1 東京大学創立 130 周年事業への参画	1
1.1.1 特別展示及び記念講演会	
1.1.2 「知のプロムナード」関連展示	
1.2 全学共通経費と全学購入システム	2
1.2.1 学習基盤整備のための全学学生用図書費の恒常化	
1.2.2 全学資料購入集中処理システムの運用拡大	
1.2.3 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の契約	3
1.3 学術機関リポジトリ (UT Repository) の収録コンテンツ拡充、機能改善	3
1.4 学術論文横断検索 (UT Article Search) と学術論文リンク (UT Article Link) の導入	5
2 閲覧貸出サービス	
2.1 開架図書の移動	7
2.2 イェール大学サマーセッションプログラム参加者へのサービス	
2.3 東京大学とイェール大学との間における図書館訪問利用の試行開始	
2.4 利用者用検索パソコンの環境整備	
2.5 国際資料室で閲覧システムによる貸出を開始	
3 ガイダンス、広報	
3.1 オープンキャンパス 2007 への参画	8
3.2 留学生ガイダンスの実施	
3.3 情報リテラシー講習会の開催と遠隔会議システムによる中継 (柏図書館)	
3.4 柏図書館利用ガイダンス (柏図書館)	
3.5 展示会及び講演会の実施	9
4 資料の整理	
4.1 蔵書目録の第二期全学遡及入力計画 (10 年次計画の 3 年次)	11
4.2 鷗外文庫の電子化	
4.3 所蔵資料の電子画像化	12
4.4 図書資料の実査	13

5 資料の収集	ページ
5.1 図書資料の購入実績	13
5.2 電子ブックの整備拡充	14
6 施設の整備	
6.1 閲覧室の環境整備（総合図書館）	14
6.2 自動化書庫への移管状況（柏図書館）	
6.3 セミナー室の整備と利用促進（柏図書館）	
6.4 清涼飲料自動販売機の設置（柏図書館）	
6.5 ネットワーク環境の機能向上（柏図書館）	15
6.6 駐輪場の整備（柏図書館）	
7 スタッフ	
7.1 職員研修プログラム	15
7.2 ジュニア TA の活用	16
8 年間活動表	
8.1 平成 19 年度図書館活動日誌	17
8.2 平成 19 年度附属図書館会議開催一覧	18
付録 全図書館室統計	
1 職員数、蔵書数、利用件数	s1
2 経年変化	
蔵書数 所蔵雑誌種類数 資料費総額	s2
入館者数 館外貸出 蔵書検索 附属図書館ホームページ利用	s3

1 平成 19 年度の特記事項

1.1 東京大学創立 130 周年事業への参画

1.1.1 特別展示及び記念講演会

平成 19 年度の特別展示は東京大学 130 周年記念事業の一環として位置付けて、「東京大学創立 130 周年・総合図書館再建 80 周年記念特別展示会 - 世界から贈られた図書を受け継いで - 」と題し、(11 月 10 日の 130 周年記念式典に会期を合わせて)11 月 1 日から 14 日まで、総合図書館 3 階ホールで開催した。

総合図書館は大正 12 年 9 月 1 日の関東大震災で崩壊し、火災により蔵書と建物を焼失したが、その後国内外からの援助により再建され現在に至っている。特別展示では再建当時に寄贈された貴重書など 47 点を公開し、支援に対する感謝の意を新たにした。展示品に貴重書を含むため、開催期間は例年の特別展示の半分ほどであったが、延べ約 1,300 人の入館があった。

実施にあたっては高野彰 跡見学園女子大学教授を中心に、島内景二 電気通信大学教授、佐藤賢一 電気通信大学准教授のご指導を得ており、11 月 9 日には高野教授による記念講演会「世界からの贈り物を受け継いで 東京大学総合図書館の生い立ちと発展」を開催し、約 100 人の参加があった。



1.1.2 「知のプロムナード」関連展示

(1) 総合図書館

東京大学創立 130 周年記念事業「知のプロムナード」のなかで総合図書館と工学部 1 号館とを結ぶ道が「近代知の道」として再整備されたことを受けて、「知のプロムナード」関連展示として「鷗外と地図 - 東京大学総合図書館鷗外文庫より - 」と題し、12 月 21 日から平成 20 年 4 月 23 日まで、総合図書館 3 階ホールで開催した。

総合図書館には、森鷗外(1862~1922)の旧蔵書約 19,000 冊が収められており、「鷗外文庫」と呼ばれている。「鷗外文庫」の内容は、哲学・文学・史学・医学・軍事など多岐にわたっているが、その中の特色あるコレク



ションの1つとして、江戸の古地図を中心とした 250 点余りの地図があげられる。今回の「知のブロムナード」関連展示では、「鷗外文庫」を中心とする館蔵資料によって、a) 鷗外立案による東京方眼図と鷗外の小説との関わり、b) 加賀藩邸を含む江戸古地図、c) 江戸から明治期の本郷界限図など、鷗外と地図に関する展示を行った。

(2) 柏図書館

新領域創成科学研究科のモニュメントが「知のブロムナード」として整備され、その中で平賀文書が紹介されたことを受けて、柏図書館では 1 階コミュニティサロンに展示コーナーを設置し、平賀文書の常設展示を開始した。

1.2 全学共通経費と全学購入システム

1.2.1 学習基盤整備のための全学学生用図書費の恒常化

今後の学習基盤整備を安定的に行っていくため、全学学生用図書費を全学協力経費から新たな恒常的教育研究事業として措置することについて附属図書館から各部局にお願いし、多数の賛同を得て、要望書を担当理事に提出した。審議の結果、平成 20 年度から総合、駒場、柏図書館の学習用図書の整備充実のため、継続的な予算(5,000 万円)が措置されることとなった。

これまで、学習用図書の整備については平成 16 年度から 19 年度までの 4 年間にわたり 2,000 万円から 5,000 万円の総長裁量経費が措置され、学習基盤の整備を行ってきた。しかし、学術の進展に伴って新たな知識を盛り込んだ新刊図書が毎年発行されている中で、学習・教育のための情報環境を最新の状態に維持し、利用者の求めに応じた適切な図書館サービスを提供していくためには、学習用図書費の恒常化が是非とも必要であった。

今回の措置により、わが国で毎年刊行される新刊図書のうち教養書・学術書約 17,000 点の購入が可能になり、東京大学にふさわしい学習基盤の継続的整備が可能となった。

1.2.2 全学資料購入集中処理システムの運用拡大

(1) 概要

図書資料を全学的に協同購入することによって経費節減と事務効率化を図るため、全学資料購入集中処理システムを構築して平成 16 年 6 月から暫定運用を開始し、同年 12 月から本格運用を実施している。平成 19 年度には、学内への呼びかけを継続した結果、参加部局と参加書店がさらに増加し、システムの利用普及が促進された。

平成 20 年度からは、予算執行管理システムと連携して第 2 ステージを開始する。このことによって、全学資料購入集中処理システムの割引価格で購入できる対象範囲をすべての図書(備品、消耗品、教員発注、図書室発注)に拡大し、経費節減効果を参加部局へ引き続き還元すると共に、差額の一定割合を全学共通経費に充当する予定である。

(2) 進捗状況(平成 20 年 3 月現在)

参加部局(23 部局)(太字は新規参加) : 図書館(総合図書館、柏図書館)、法学部、公共政策、医学部、工学部、文学部、理学部、農学部、経済学部、教養学部(駒場図書館、自然科学図書室、アメリカ太平洋研究センター)、教育、**数理**、新領域、情報理工、医科研、地震研、東文研、社研、生研、宇宙線研、物性研、海洋研、先端研

参加書店(29 書店) : 今年度の新規参加は 7 社(イタリア書房、エックスリブリス、ガリア書房、東京堂書店、ナウカジャパン、日ソ、原書店)

平成 19 年度実績等 : システムを利用し 34,000 冊(247,000 千円)の図書を購入し、11,100 千円の図書購入費を節約することができた。

1.2.3 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の契約

平成 18 年度に新たな学内施策として合意された「全学共通経費による基盤的学術雑誌等整備の基本方針」に基づき、平成 19 年度から全学共通経費が措置されることとなった。この措置によって、学術雑誌 8,684 タイトル(国内及び外国雑誌)、電子ジャーナル 7,458 タイトル、データベース 57 点の契約を維持することができ、教育研究に必須の情報基盤である最新の学術文献等を継続的に整備することができた。

また、外国雑誌の契約は従来から総合図書館が全学分を取りまとめ一括契約を行ってきたが、全学共通経費の措置に伴い、今後は国内雑誌についても総合図書館が一括して契約事務を執り行うこととし、学内の契約・支払業務の合理化・効率化を推進した。

1.3 学術機関リポジトリ(UT Repository)の収録コンテンツ拡充、機能改善

(1) UT Repository の概要

東京大学学術機関リポジトリ(UT Repository)とは、東京大学で生産されたさまざまな研究成果を電子的な形態で集中的に蓄積・保存し、学内外に公開することを目的としたインターネット上の発信拠点である。平成 16 年度から情報基盤センターと連携してシステム構築を行い、平成 18 年 4 月 1 日から「東京大学学術機関リポジトリ(UT Repository)」としてサービス公開を開始した。



(<http://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>)

(2) 学内広報とコンテンツ構築

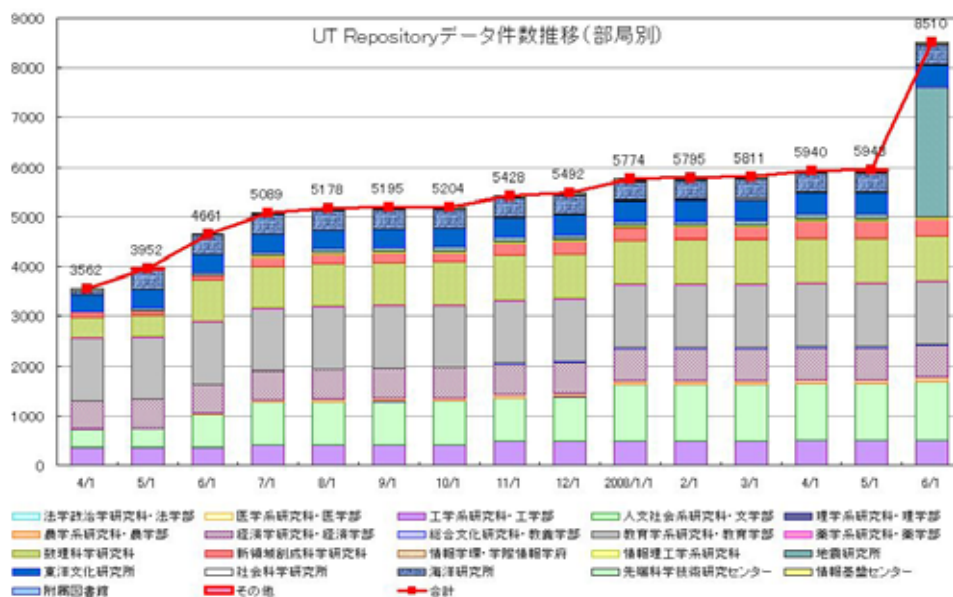
昨年度に引き続き、学内教員への直接的な紹介・説明のため、附属図書館長による各部署教授会での UT Repository のプレゼンテーションを下記 9 部署にて実施した。

プレゼンテーションは平成 18 年度と合わせて 19 部署に行われ、延べ約 1,400 人の教員に直接説明することができた。

UT Repository の部署教授会でのプレゼンテーション

部署	月日	参加者数	資料配付部数
薬学部・薬学系研究科	4月11日	50	77
東洋文化研究所	5月31日	25	70
地震研究所 + 分子細胞生物学研究所	5月31日	30	100
医学部・医学系研究科	6月6日	150	200
経済学部・経済学研究科	6月13日	50	60
教育学部・教育学研究科	6月20日	50	55
医科学研究所	6月21日	70	100
総合文化研究科	平成 20 年 1月24日	200	250
数理科学研究科	3月21日	70	75

平成 19 年度は、前年度に引き続き、紀要、学位論文、学術雑誌論文を中心としたコンテンツの収集・整理、並びに学内広報等を行い、コンテンツの原本を作成している各部署の支援・協力を得て、3 月末には 5,940 件を公開することができた（平成 19 年度中に収集したコンテンツは平成 20 年度早々に整理が完了し、公開件数は平成 20 年 6 月当初段階で 8,510 件となった）。



(3) 機能改善：紀要目次ページの開発

UT Repository への機能追加として、紀要を巻号単位で表示させる目次機能の開発を行った。従来の UT Repository では紀要論文を探すときには論文単位で検索することを想定しており、雑誌として通覧するには使い勝手が悪かったが、目次ページが追加されたことによって巻号体系による閲覧が可能となり、紀要の公開促進及び外部からのアクセス増が期待される。



(4) 今後の課題

UT Repository には学術雑誌論文や学会発表資料、科研費や COE 報告書など、様々なコンテンツが格納されているが、本事業は平成 16 年に運用を開始してまだ 4 年であり、東京大学の研究成果を電子的に蓄積保存していく機能は端緒についたばかりである。学内研究者及び各部署の担当部署への広報活動をより積極的に展開し、さらなるコンテンツの収集拡充を図り、とりわけ学位論文及び紀要等の学内刊行物を重点収集課題として収集し、東京大学の研究成果を学内外に発信していく予定である。

また、学内研究者に対する利便性の向上と東京大学の研究成果の積極的な発信に寄与するため、UT Repository と学内の標準実績データベース等の関連するシステムとの連携を図る予定である。

1.4 学術論文横断検索 (UT Article Search) と学術論文リンク (UT Article Link) の導入

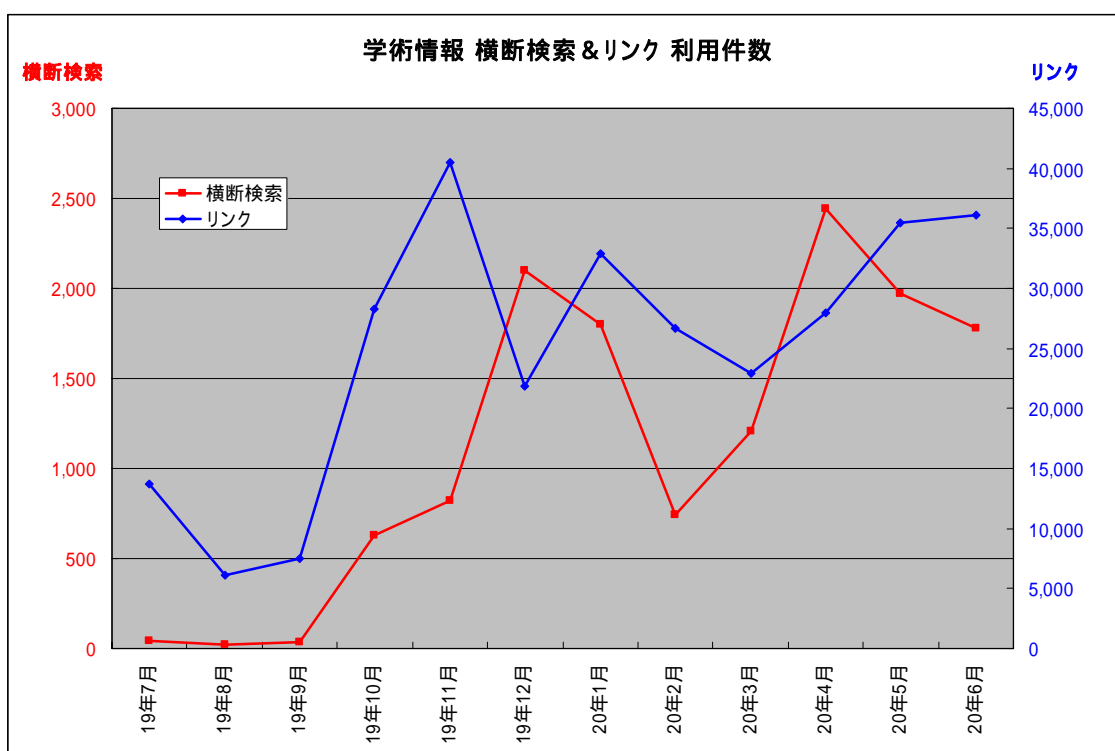
学術論文を探す際に、従来はそれぞれ使い勝手の異なる各種データベースや電子ジャーナルを個々に当たっていく必要があり、また複数のサービスを連携して利用することもできないため、利用者は必要とする学術論文を得るまでに非常に煩わしい手順を経る必要があった。このことを改善するため、平成 19 年度は 2 つのサービスを新規に導入した。

- 1) 「学術論文横断検索 (UT Article Search)」は、様々な電子的資源を横断的に検索することのできるサービスである。利用者は、複数のデータベースや電子ジャーナルを一度にまとめて検索することができ、検索結果に対しても一度に絞り込む(例えば今年発表された文献のみを横断的に抽出するなど)ことができるため、検索の手順が大幅に簡略化された。

2) 「**学術論文リンク (UT Article Link)**」は、論文検索から論文本文を容易に入手できるようにするシステムである。例えばデータベース等を検索して必要な論文が見つかったとき、「学術論文リンク」によって、最初の検索結果から直接リンクを辿るだけで電子ジャーナルの論文本文を入手することができる。従来は、本文の所在を確認するために改めて電子ジャーナルやオンライン目録(OPAC)等で何度も検索しなおす必要があったが、再検索の手間を省くことができるようになった。

また、本文が電子化されていない場合は、リンクを辿って紙媒体の所蔵先(学外を含む)を確認し、直ちに文献複写を申し込むこともできるため、極めて容易に論文が入手できる。

本格運用の開始は11月27日となったが、試行公開中からまとまった件数の利用が見られ、その後も件数は順調に伸びており、学術論文の入手に活用されている。



2 閲覧貸出サービス

2.1 開架図書移動

開架エリアでは、図書の増加による書架の狭隘化が目立ち、ここ数年、棚板の追加、書架の増設等を行って対応してきたが、すでに限界となっていた。このため、地下事務用書庫の一部を利用者に転用し、利用の少ない図書約9千冊（第1弾として、1989年以前刊行の人文系和書のうち、最近3年間貸出実績の無いものを抽出）の移動を行った。この結果、開架書架には利用頻度の高い図書だけが配架されるようになったため、利用者が図書を探索する際の効率を向上することができた。今後も同様の移動を計画的に実施し、閲覧環境の改善に努める予定である。

2.2 イェール大学サマーセッションプログラム参加者へのサービス

イェール大学サマーセッションプログラム(窓口:国際系学生交流企画グループ)が7月7日から8月11日まで東京大学で初めて開催された。

総合図書館では、プログラム参加者が図書館サービスを利用できるように、図書館利用証を発行した。参加者による資料の貸出利用件数は少なかったものの、レポート作成などのため館内の教育用計算機システム端末が活用された。

今回、図書館の利用方法についてはプログラム全体のオリエンテーションの中で説明がなされたが、今後は図書館職員が直接説明を行うことによって、より効果的に図書館を利用してもらえるよう改善していく予定である。

2.3 東京大学とイェール大学との間における図書館訪問利用の試行開始

東京大学とイェール大学の間で、図書館訪問利用(相手大学を訪問した際に、レファレンスと複写を含む資料の閲覧と貸出サービスを受けることが出来る)について、試行を行う協定書を取り交わした。

イェール大学側は学内23館、東京大学側は総合・駒場・柏図書館を含む22の図書館・室が訪問利用に参加することとなり、平成20年1月から9月までを試行期間とし、10月以降の実施については試行を基に改めて協議・決定する予定である。

2.4 利用者用検索パソコンの環境整備

情報検索用として総合図書館1階のメディアプラザに設置している日本語版パーソナルコンピュータ10台のうち3台を英語版に変更し、日本語に未習熟な外国からの研究者や学生へのサービス向上を図った。

2.5 国際資料室で閲覧システムによる貸出を開始

平成19年4月から学内者を対象に、従来のマニュアル貸出から閲覧システムを使った貸出

に変更した。このことによって、国際資料室を利用するときにも、他の開架・書庫資料と同様に、簡単な手続きで資料の貸出利用ができるようになった。

3 ガイダンス、広報

3.1 オープンキャンパス 2007 への参画

8月1日に全学で開催されたオープンキャンパス2007に、図書館は自由見学施設として参画した。図書館見学者数は3,322人で、昨年の2,775人、一昨年の1,112人と比較して著しい増加となっている。

当日は昨年と同様に通常の貸出サービス等は一時休止し、館員が要所に立って施設説明を行うなど、参加した高校生・大学受験生が図書館内を自由に見学できるよう配慮した。

3.2 留学生ガイダンスの実施

昨年度に引き続き、留学生オリエンテーションを実施する部局(研究科)と連携し、日本語または英語によるガイダンスを実施した。春季は人文と1回16人、秋季は法・工・理・農・人文と計5回50人の参加があった。内容は、図書館利用案内及びデータベース講習会(担当:情報基盤センター図書館電子化部門)とし、それぞれ30分程度の所要時間で、日本語に不慣れな留学生には概ね好評であった。

3.3 情報リテラシー講習会の開催と遠隔会議システムによる中継(柏図書館)

柏図書館1階コンファレンスルームにて、6月28日に「SciFinder Scholar ユーザートレーニング」(8人参加)を実習形式で行った。

また、メディアホールの遠隔会議システムを用いて、情報基盤センターが総合図書館で実施する講習会を中継し、6月20日に「Web of Knowledge 搭載データベースユーザートレーニング」(のべ39人参加)、7月24日に「J Dream 利用説明会」(2人参加)を中継開催した。柏地区の利用者が講習会のために本郷地区まで出向かなくても済むため、好評であった。

3.4 図書館利用ガイダンス

(1) 総合図書館

本郷キャンパスに新しく進学・勤務する利用者を対象に、4月9日から25日の平日にオリエンテーションを実施した。内容は、総合図書館の利用案内全般と書庫案内、蔵書検索(OPAC)入門、国際資料室利用案内など計44コマ実施し、326人の参加があった。このうち2コマ32人については、部局の留学生ガイダンスと調整し、日程調整のできた人文社会系研究科と連携して留学生を対象に実施したものである。

留学生向けガイダンスについては新入学生の多い秋季(10月9日から16日)にも実施し、48人が参加した。

(2) 柏図書館

柏キャンパスに新しく進学・勤務する利用者を対象に、4月9日～20日及び10月9日～19日の平日に午前午後1回ずつ30分程度の柏図書館利用ガイダンスを開催した。内容は館内ツアー、図書館の使い方、文献の取り寄せ方法、図書館施設の紹介、OPAC(オンライン目録)や電子ジャーナル・データベースの簡単な紹介などである。春季80人、秋季8人の参加があった。

また、新領域創成科学研究科の専攻から依頼を受けて、専攻別ガイダンス中に図書館の利用方法の説明を行った。春季は3専攻122人、秋季は1系1専攻48人が参加した。

11月には柏キャンパス日本語教室からの依頼を受けて、7クラスに柏図書館の使い方に関するガイダンスを行った。参加者はのべ48人である。

3.5 展示会、講演会、映画上映会、ミニコンサートの実施

(1) 総合図書館

平成19年度は、創立130周年にちなんだ特別展示・講演会、「知のプロムナード」関連展示の他、以下の展示会・講演会などを開催した(次項の開催一覧を参照のこと)。

なお、総合図書館の展示は情報基盤センター図書館電子化部門の協力を得て、1994年のマルチメディア展示会から電子展示としてWeb上でも公開している。

(<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/tenjikai/index.html>)

(2) 柏図書館

柏図書館ではキャンパス一般公開(入場者2652人、このうち柏図書館閲覧室見学者236人)に合わせて1階コミュニティサロンにて特別展示「医学関係貴重史料展」を開催した。これは貴重図書室で9月から平成20年3月まで保管する耐震工事期間中の医学図書館の史料から、解体新書など10点を展示したもので、来観者は313人あり、好評を博した。

また、3回の映画上映会にはそれぞれ22人、23人、32人が来場し、ミニコンサートには70人を超える参加者があり、映画と音楽を鑑賞した後には館内のコミュニティサロンで懇親会を開催した。来場者には地域住民も含まれ、柏図書館メディアホールの設備紹介と利用拡大、参加者間の交流及び地域との連携が図られた(次項の開催一覧を参照のこと)。

平成 19 年度展示会・講演会など開催一覧

会場	期 間	種 別	タイトル	展示点 数
総 合 図 書 館	3月1日 ～7月31日	常設展示(1)	(新制)東京大学総長著作展 (1)-南原総長から向坊総長 まで-	33点
	4月27日 ～5月16日	国際資料室 企画展示	「基本資料にみる EU 拡大 - ローマ条約 50 周年」	20点
	7月5日 ～9月26日	常設展示(2)	(新制)東京大学総長著作展 (2)-平野総長から佐々木総 長まで-	26点
	11月1日 ～14日	創立 130 周年 特別展示	東京大学創立 130 周年・総合図 書館再建 80 周年 - 世界から贈 られた図書を受け継いで -	47点
	11月9日	記念講演会	世界からの贈り物を受け継い で - 東京大学総合図書館の生 い立ちと発展 - 講師：高野彰 跡見学園女子大 学教授	
	12月21日 ～20年4月23日	「知のプロムナード」関連展示	鴎外と地図 - 東京大学総合図 書館所蔵鴎外文庫より -	7点
柏 図 書 館	(常設)	「知のプロムナード」関連展示	平賀文書	
	10月26日 ～27日	柏キャンパス 一般公開特別展示	医学関係貴重史料展	10点
	10月31日	映画上映会(1)	映画「少林サッカー」	
	12月13日	映画上映会(2)	映画「市民ケーン」	
	20年2月28日	映画上映会(3) ミニコンサート	映画「こねこ」 わくわくコンサート(新領域創 成科学研究科教員・院生及び市 民による演奏会)	

このほか、駒場博物館で平成 20 年 3 月 28 日から 5 月 23 日に開催された展覧会「平賀讓とその時代 一高生から東大総長へ」では、柏図書館が共催に名を連ね、展示資料の貸出を行った。

4 資料の整理

4.1 蔵書目録の第二期全学遡及入力計画（10年次計画の3年次）

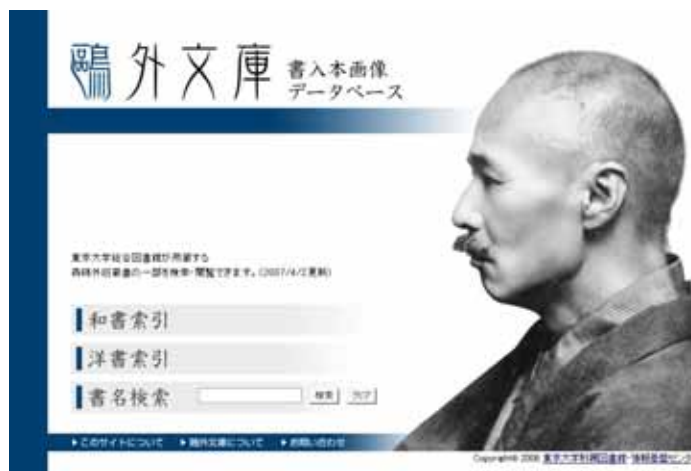
総合図書館では、オンライン蔵書検索システム(OPAC)が導入される以前に紙の目録カードで整理されていた全学の図書について、遡及的に目録情報データを入力することによって、オンラインで検索できるようにする作業を10年次計画で進めている。

平成19年度は第二期全学遡及入力計画(10年次計画の3年次)にあたり、入力継続中の6部局の図書館・室に加え、新たに農学生命科学図書館が加わり計14の図書館・室について、合計約6万9,000冊の遡及入力を行った。これらのうち、工3号館、6号館、14号館、理学部生物学の4図書室の遡及入力を終了した。また理学部植物園、文学部は前期対象分が終了、経済学部、農学部は平成19年度対象分が終了した。その他の部局については、現在も進行中である。なお、鷗外文庫の和装本についても、約3,000冊の入力を実施した。

これら遡及入力が完了した図書については、全学(及び学外)からオンラインによる所在検索が可能となり、東京大学が長年にわたり収集してきた知的資産の有効活用が図られることとなった。

4.2 鷗外文庫の電子化

鷗外文庫の電子化事業は、平成17年度・18年度に申請採択された科学研究費補助金(研究成果公開促進費)によって事業展開をしてきたが、3年目となる本年度は申請が不採択となった。そのため、総合図書館の予算により計画を継続し、目録データの作成と、蔵書に鷗外自筆による書入があるか調査を実施した。



まず、目録データ作成については、全学遡及入力事業の一部に繰り入れ、業者委託により和書3,031冊を入力した。また、書入調査については、大学院人文社会系研究科の学生アルバイト等により、19,195点の調査を終了するとともに、併せて「鷗外文庫書入本画像データベース」へのタイトル追加候補の選定を行った。

なお、平成17年度末に公開した「鷗外文庫書入本画像データベース」は、本年度1年間で約55,000件(画像表示回数)のアクセスを得ている。

(<http://rarebook.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/ogai/>)

4.3 所蔵資料の電子画像化

附属図書館では、情報基盤センター図書館電子化部門の協力により、以下の資料を電子化し、画像データベースとして公開した。

(1)「甲州法度之次第」(7月20日公開)法学部法制史資料室所蔵

「甲州法度之次第」は戦国大名・武田氏の家法であり、領国を統治するため家臣に対して定めた種々な規律を主な内容とする。

法制史資料室所蔵本は流布本系の代表的な一本であり、学界においても「甲州法度之次第」の標準的なテキストとして認知されている。

(<http://rarebook.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/koshu/>)



(2) 総合図書館旧蔵「朝鮮王朝実録(五台山本)」(8月31日公開)

「朝鮮王朝実録」は朝鮮王朝(1392-1910)の公式記録であり、韓国国宝及びユネスコ世界記録遺産の指定を受けている。

かつて五台山史庫に保管され東京帝国大学に移管された「実録」は、関東大震災によりほとんどが焼失し、47冊が東京大学総合図書館に保管されてきた。本データベースは、この47冊を電子化したものである。

なお、原本は平成18年7月に国立ソウル大学校に移管されている。

(<http://rarebook.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/jitsuroku/>)



(3)「東京帝国大学(写真帖)」(平成20年4月1日公開)総合図書館所蔵。

明治30年代の東京帝国大学を撮影した写真帖2冊を電子化したものである。明治33(1900)年版のものは、パリ万国博覧会、明治37(1904)年版のものは、セントルイス万国博覧会に出品するために製作された。

(<http://rarebook.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/shashincho/>)



4.4 図書資料の実査

総合図書館の図書資産実査は、10年で全資料を一巡する計画で順次実施している。平成19年度は計画の3年目にあたり、平成10年度までに目録入力を終えた書庫内洋図書約20,500冊を対象とし、11月に実施した。その結果、不明資料は46冊であった。

また、昨年度の不明資料1,557冊(開架図書)の再調査を併せて実施した結果、1,074冊については依然不明であったため、亡失資料として除籍手続を行った。

5 資料の収集

5.1 図書資料の購入実績

(1) 全学の図書館室の総購入冊数と総購入金額

図書購入費の総額は減少傾向にあるが、この他にも教育研究上の事情から図書館室を経ずに購入される図書も相当数あると思われる。図書購入に係る全学的な経費節減と事務効率化については、全学資料購入集中処理システムを平成16年度から運用開始して利用普及を図っている。平成20年度からはシステムを改善し、図書館室を経ずに発注される図書についても同システムの割引率を適用して安価に購入可能とする予定である(「1.2.2 全学資料購入集中処理システムの運用拡大」を参照)。

総合図書館では、事務処理に関するさらなる効率化を追求するため、クレジットカード、請求書自動発行システムを利用した購買方法について、全学に先駆けて試行実験を実施した。

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
購入冊数	69,556	64,646	66,435	70,639	66,397
購入金額	692,373	584,124	526,508	520,232	473,625

(単位千円)

(2) 学習用図書の整備

大学を構成する教員、大学院生、学生の3つの視点から学習用図書を選書する計画を立て、総長裁量経費の配分を受け、総合、駒場、柏図書館の学習用図書を大幅に整備充実することができた。

図書館名	平成19年		平成16~19年 合計	
	冊数(冊)	予算額(千円)	冊数(冊)	予算額(千円)
総合図書館	1,810	7,000	9,711	37,500
駒場図書館	4,029	8,500	22,384	75,500
柏図書館	644	4,500	5,289	27,000
合計	6,483	20,000	37,384	140,000

注:平成20年度からは、総長裁量経費に代わり全学学生用図書費が恒常的に措置されることとなった(「1.2.1 学習基盤整備のための全学学生用図書費の恒常化」を参照)。

5.2 電子ブックの整備拡充

従来から柏図書館で整備して全学にサービス提供していた OCLC NetLibrary の電子ブック洋書 3952 点(購入 496 点、無料 3456 点)に加えて、11 月から学術書・教養書を中心とした和書 101 点を追加公開した。

これら電子ブックは学内全域から利用できるほか、利用者登録することで学外からも利用可能である。

6 施設の整備

6.1 閲覧室の環境整備(総合図書館)

3 階閲覧室窓側の照明設備の追加、大階段の絨毯を不燃性のものへ交換、女子トイレの個室増設、ブラインドの交換など、様々な設備の改善・更新を行った。このことにより館内がより明るく清潔になり、利用者が図書館を一層快適に利用できるようになった。

また、資料の保全(資料の汚損・劣化及び害虫の発生を予防)のため、4 月から館内での食事を全面的に禁止し、館員が閲覧席を巡回して図書館内の飲食ルールの周知徹底に務めた。なお、飲み物については各階のラウンジに限り、飲むことができるとしている。

6.2 自動化書庫への移管状況(柏図書館)

柏図書館は全学の自然科学系学術雑誌のバックナンバーセンター機能を担っており、100 万冊相当の収容能力を有する自動化書庫(平成 18 年度末に第 1 期工事完了)には各部局図書館室から移管された雑誌バックナンバーが収納され、各部局の資料収容能力の改善が図られている。

今年度は総合図書館、医学部、理学部、工学部、医科研、海洋研から約 3.4 万冊が移管され、合計約 25 万冊が収納された。

なお、移管された資料については、利用者の求めに応じて複写文献を電子的に配送する e-DDS サービスによって迅速に提供しており、全学的な活用が図られている。

6.3 セミナー室の整備と利用促進(柏図書館)

9 月に 1 階セミナー室のうち、狭くて利用しにくかった 2 室の隔壁を撤去して広い 1 室に改装した。このことにより室数は 3 室から 2 室となったが、使い勝手が改善されたために、全体の利用率は向上した。

6.4 清涼飲料自動販売機の設置(柏図書館)

9 月に 1 階メディアプロムナードのレストコーナー(32 席)に清涼飲料の自動販売機を設置し、図書館利用者のアメニティ向上を図った。設置当初の利用は 1 日 16.2 本(9 月調査、平均)で

あったが、半年後には1日30.5本(2月調査、平均)となり、図書館における学習・教育研究の合間のリフレッシュに活用されている。

6.5 ネットワーク環境の機能向上(柏図書館)

1階メディアホール、コンファレンスルーム、コミュニティサロンにUTnetの無線LANの追加敷設工事が行われ、平成20年3月から運用を開始した。利用者は、これら施設の利用申請時に併せて申し込むことにより、UTnetの無線LANに接続するためのキーなどが情報基盤センターから期間限定で用意される仕組みであり、各施設で行われる学会・研究会・研修会等において、全学的に参加者を募る場合や、学外からの参加者も交えて開催する場合にもネットワークを安全に運用できる環境が整備された。

なお、これら施設には既設LANとして部局ネットワークのUT-Kashiwaと教育用計算機システムのECCSが敷設されており、新たに敷設されたUTnetの無線LANと共に、用途に応じて使い分けられている。

また、2階閲覧室内で利用可能な無線LANはECCSのみであったが、平成20年3月末に工事を行いUT-Kashiwaも利用可能となった。

6.6 駐輪場の整備(柏図書館)

9月に柏図書館の東西に1箇所ずつ仮設の駐輪場を設置した。従来は図書館近辺に駐輪場が無かったため、柏図書館メインエントランスとサブエントランスに自転車やオートバイが乱雑に駐輪されて、通行の妨げになっていた。今回、駐輪場が設置されて歩行者の通路と駐輪場が明確に整理されたことにより、図書館周辺の通行がスムーズになり、利用者が図書館を快適に利用できるようになった。

7 スタッフ

7.1 職員研修プログラム

(1) 附属図書館研修プロジェクト

図書職員の資質を向上させるため、以下の職員研修プログラムを実施した。これらプログラムは平成16年度から附属図書館研修プロジェクトとして全学的に実施されているものであり、実務研修においては図書職員自身が講師を務めるなど、職務上必要となる知識の共有を図っている。

(<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/utlsd/project/project.html>)

研修プログラム実施状況

研修名	日時	会場	参加者
図書館サービスの基盤シリーズ 「目録ベーシック研修(図書)」	5月23日(水)	総合図書館	14名
図書館サービスの基盤シリーズ 「電子ジャーナル利用サポート研修」	7月27日(金)	総合図書館	13名
海外大学図書館研修・出張報告	11月27日(火)	教育学部	18名
今後の図書館システムについて	12月7日(金)	薬学部 総合研究棟	19名
PC故障対策法：データバックアップ からデータ救出まで	平成20年 3月4日(火)	総合図書館	16名

(2) 研修プログラムにおける新たな試み

プログラムの内容は毎年見直しを行っているが、今年度は以下のことを新たに試みた。

図書館サービスの基盤シリーズ「目録ベーシック研修(図書)」では、端末を使用した登録操作実習よりも、目録整理技術の基礎に重点を置いた研修を実施した。

図書館サービスの基盤シリーズ「電子ジャーナル利用サポート研修」では、実際のサービス現場に対応した場面別のテキストにより、利用方法や機能等の説明だけでなく、日常業務に活かせる実践的な内容とした。

従来シリーズの枠にとらわれない新たな研修企画としては、図書館サービスの将来展望を考えるため「海外研修・出張報告」と「今後の図書館システム」を開催し、また、日常的に直面する課題のひとつとして「PC故障対策法」を開催した。

「今後の図書館システム」では、外部講師を招聘することにより、同テーマに関する最新の動向、情報を知る機会となる研修が実現できた。

7.2 ジュニアTAの活用

本年度は、東京大学ジュニアTA制度奨励費から100万円の配分を受け、3つのグループを設定して業務を実施した。

- 1) 多くの学生が図書業務に触れる機会となるよう設定した「書架整理・返本・学習用図書の選書」を行うグループ(3期20名)
- 2) 大学院生対象の「学習用図書の選書」グループ(5名)
- 3) 「ハングル雑誌の整理」グループ(留学生2名)

このうち、3)「ハングル雑誌の整理」業務は本年度初めて実施したものであり、今まで着手が難しかった数100誌のハングル雑誌の書誌情報が、韓国からの留学生によってリスト化され、受入及び目録作業に進む準備が整った。

8 年間活動表

8.1 平成 19 年度図書館活動日誌

	イベント・活動内容
平成 19 年 4 月 9 日～25 日	総合図書館オリエンテーション
4 月 27 日 ～5 月 16 日	日・EU フレンドシップウィーク 2007「基本資料に見る EU 拡大 - ローマ条約 50 周年」
4 月	全学共通経費による基盤的学術雑誌等整備開始
5 月 23 日	【研修プログラム】図書館サービスの基盤シリーズ 「目録ベーシック研修（図書）～所属登録からの脱却～」
7 月 5 日 ～9 月 26 日	常設展「（新制）東京大学総長著作展(2) - 平野総長から佐々 木総長まで - 」
7 月 10 日～27 日	図書館業務システム講習会
7 月 27 日	【研修プログラム】図書館サービスの基盤シリーズ 「電子ジャーナル利用サポート研修」
8 月 1 日	本郷・オープンキャンパス
8 月 2 日	駒場・オープンキャンパス
10 月 9 日～16 日	留学生向け秋季図書館ガイダンス
10 月 26 日～27 日	柏キャンパス一般公開
11 月 1 日～14 日	東京大学創立 130 周年・総合図書館再建 80 周年記念特別展示 会「 - 世界から贈られた図書を受け継いで - 」
11 月 5 日～30 日	図書資産の実査作業
11 月 9 日	東京大学創立 130 周年・総合図書館再建 80 周年記念講演会 「世界からの贈り物を受け継いで - 東京大学総合図書館の生 い立ちと発展 - 」
11 月 27 日	【研修プログラム】海外大学図書館研修・出張報告
11 月	UT Article Search（学術論文横断検索）、UT Article Link （学術論文リンク）サービス開始
12 月 7 日	【研修プログラム】今後の図書館システムについて
3 月 4 日	【研修プログラム】PC 故障対策法：データバックアップから データ救出まで
3 月	『図書館利用ガイド 2008』 『Guide to UT Libraries 2008』 発行

8.2 平成 19 年度附属図書館会議開催一覧

開催日	会議名称
平成 19 年 3 月 22 日	駒場図書館運営委員会（第 9 回）
4 月 27 日	図書行政商議会（第 382 回）
5 月 9 日	図書館業務連絡会議
5 月 28 日	附属図書館運営委員会（平成 19 年度第 1 回）
6 月 5 日	附属図書館サービス特別委員会（平成 19 年度第 1 回）
6 月 20 日	図書館業務連絡会議
7 月 20 日	附属図書館運営委員会（平成 19 年度第 2 回）
7 月 24 日	附属図書館サービス特別委員会（平成 19 年度第 2 回）
7 月 25 日	柏図書館運営委員会（平成 18 年度第 1 回）
7 月 27 日	図書行政商議会（第 383 回）
7 月 30 日	駒場図書館運営委員会（第 10 回）
7 月 31 日	図書館業務連絡会議
8 月 7 日	学術情報電子化専門委員会（平成 19 年度第 1 回）
9 月 25 日	図書館業務連絡会議
10 月 30 日	図書館業務連絡会議
11 月 2 日	附属図書館運営委員会（平成 19 年度第 3 回）
11 月 20 日	附属図書館サービス特別委員会（平成 19 年度第 3 回）
11 月 30 日	図書行政商議会（第 384 回）
12 月 4 日	図書館業務連絡会議
平成 20 年 1 月 22 日	図書館業務連絡会議
2 月 9 日	駒場図書館運営委員会（第 11 回）
2 月 22 日	附属図書館運営委員会（平成 19 年度第 4 回）
2 月 22 日	附属図書館サービス特別委員会（平成 19 年度第 4 回）
2 月 27 日	図書館業務連絡会議
3 月 14 日	図書行政商議会（第 385 回）
3 月 18 日	駒場図書館運営委員会（第 12 回）
3 月 19 日	柏図書館運営委員会（平成 19 年度第 2 回）
3 月 25 日	図書館業務連絡会議

全 図 書 館 室 統 計

1. 職員数、蔵書数、利用件数

平成20年3月31日現在

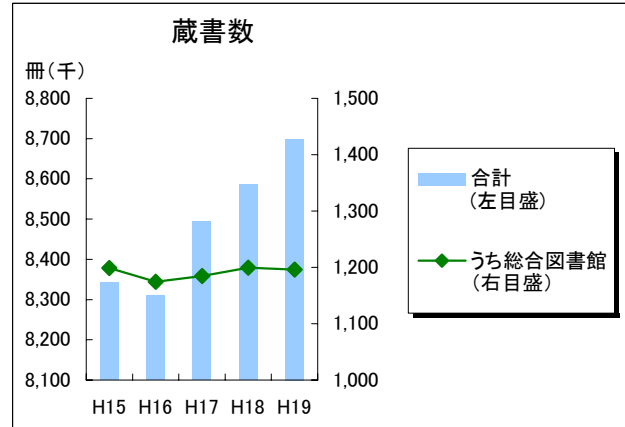
	職員数		蔵書数						資料費 総額 (千円)	受入資料数								館外貸出 (冊)	相互利用 (文献複写)	
			図書			逐次刊行物				図書				逐次刊行物					受付 (件)	依頼 (件)
	常勤 (人)	非常勤 (人)	和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	和文 (種)	欧文 (種)	合計 (種)	和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	(内購入)	和文 (種)	欧文 (種)	合計 (種)	(内購入)				
大学院法学政治学研究所・法学部研究室	13	6	241,104	462,536	703,640	1,500	2,018	3,518	84,667	4,092	5,561	9,653	8,332	741	1,258	1,999	1,487	0	322	236
近代日本法政史料センター	2	3	55,989	799	56,788	7,187	29	7,216	2,401	338	0	338	162	0	0	0	0	0	393	454
医学図書館	10	6	111,259	167,579	278,838	3,269	2,414	5,683	20,917	1,520	1,389	2,909	936	800	630	1,430	778	10,455	1,812	3,768
工学・情報理工学図書館	13	16	152,666	253,622	406,288	3,625	4,073	7,698	39,490	2,555	2,698	5,253	1,595	1,297	885	2,182	1,402	22,690	659	739
大学院人文社会系研究科・文学部図書室	8	15	472,591	519,276	991,867	6,304	4,005	10,309	100,544	10,432	8,336	18,768	11,709	471	1,242	1,713	1,387	18,109	683	992
大学院理学系研究科・理学部図書室	8	9	38,377	195,023	233,400	2,028	4,828	6,856	18,830	2,178	7,501	9,679	617	960	1,239	2,199	642	9,342	331	308
農学生命科学図書館	12	5	223,113	158,858	381,971	6,341	5,287	11,628	56,631	2,278	5,038	7,316	1,378	1,885	1,560	3,445	1,645	15,379	5,657	747
経済学部図書館	11	11	435,829	311,097	746,926	7,113	4,831	11,944	38,990	8,685	3,893	12,578	4,121	693	480	1,173	560	36,709	336	434
駒場図書館 (総合文化研究科図書館・自然科学図書室を含む)	16	22	496,239	478,193	974,432	1,574	3,258	4,832	55,116	7,115	6,543	13,658	7,929	850	1,594	2,444	1,906	142,532	584	2,470
アメリカ太平洋地域研究センター	3	3	6,239	62,393	68,632	157	574	731	8,614	342	1,038	1,380	690	79	81	160	73	3,297	0	0
大学院教育学研究科・教育学部図書室	4	3	69,626	56,045	125,671	2,988	1,056	4,044	8,390	3,108	1,156	4,264	2,188	712	310	1,022	468	14,496	642	938
薬学図書館	2	1	9,950	30,193	40,143	199	339	538	1,871	221	578	799	131	66	91	157	102	1,499	120	501
大学院数理学研究科図書室	3	3	13,193	118,134	131,327	157	1,514	1,671	22,635	1,486	2,316	3,802	1,001	40	599	639	351	8,131	242	51
大学院情報学環・学際情報学部図書室	3	4	67,199	52,791	119,990	1,398	1,358	2,756	4,099	669	512	1,181	467	240	146	386	229	5,780	413	214
社会情報研究資料センター			12,751	4,719	17,470	0	0	0	11,277	326	10	336	233	0	0	0	0	0	0	0
医科学研究所図書室	2	1	7,406	47,127	54,533	322	964	1,286	2,897	13	678	691	680	16	113	129	104	537	235	407
地震研究所図書室	2	2	18,403	31,980	50,383	820	927	1,747	2,987	135	514	649	72	499	260	759	153	809	98	13
東洋文化研究所図書室	6	5	485,624	172,044	657,668	2,608	3,840	6,448	45,473	5,739	2,813	8,552	7,681	560	753	1,313	634	0	0	42
社会科学研究所図書室	11	0	194,362	133,546	327,908	4,938	2,751	7,689	22,254	2,562	1,658	4,220	3,320	941	390	1,331	678	16,626	137	61
生産技術研究所図書室	3	0	62,228	99,919	162,147	984	1,294	2,278	7,068	454	732	1,186	227	426	381	807	312	773	164	562
史料編纂所図書室	10	8	490,927	14,622	505,549	2,648	212	2,860	4,668	3,925	147	4,072	615	1,139	43	1,182	104	0	0	9
宇宙線研究所図書室	0	1	858	20,814	21,672	21	214	235	2,348	23	415	438	425	14	62	76	70	152	2	7
物性研究所図書室	2	1	5,808	56,225	62,033	104	629	733	11,638	411	353	764	710	45	106	151	133	3,261	59	31
海洋研究所図書室	1	2	11,303	34,552	45,855	1,113	1,481	2,594	1,225	2,775	3,862	6,637	50	391	398	789	191	1,064	356	265
情報基盤センター情報資料室	1	0	4,808	4,134	8,942	63	88	151	0	0	0	0	0	12	28	40	31	3	0	0
総合研究博物館図書室	1	1	3,923	2,114	6,037	3,055	848	3,903	0	360	9	369	0	493	155	648	0	8	0	0
アイソトープ総合センター図書室	0	2	29	269	298	40	31	71	138	14	0	14	14	20	4	24	2	23	0	3
先端科学技術研究センター図書室	1	2	16,035	30,440	46,475	69	410	479	1,767	135	93	228	69	20	26	46	40	668	12	262
部局図書館(室) 計	148	132	3,707,839	3,519,044	7,226,883	60,625	49,273	109,898	576,935	61,891	57,843	119,734	55,352	13,410	12,834	26,244	13,482	312,343	13,257	13,514
総合図書館	40	16	776,214	419,995	1,196,209	12,497	10,577	23,074	68,018	11,181	2,019	13,200	7,164	3,170	825	3,995	308	135,712	899	190
全学共通経費									1,147,491											
柏図書館	5	2	39,369	236,831	276,200	1,007	10,983	11,990	15,340	10,537	28,258	38,795	3,881	18	6	24	21	32,107	565	665
総計	193	150	4,523,422	4,175,870	8,699,292	74,129	70,833	144,962	1,807,784	83,609	88,120	171,729	66,397	16,598	13,665	30,263	13,811	480,162	14,721	14,369

2 経年変化

2.1 蔵書数

	合計	うち総合図書館
平成15年度	8,342,880	1,198,973
平成16年度	8,309,685	1,174,461
平成17年度	8,492,910	1,184,919
平成18年度	8,586,543	1,199,489
平成19年度	8,699,292	1,196,209

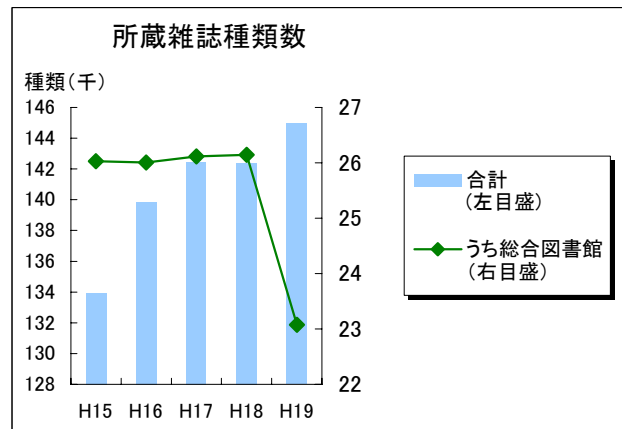
(単位:冊)



2.2 所蔵雑誌種類数

	合計	うち総合図書館
平成15年度	133,954	26,028
平成16年度	139,866	26,005
平成17年度	142,437	26,114
平成18年度	142,369	26,143
平成19年度	144,962	23,074

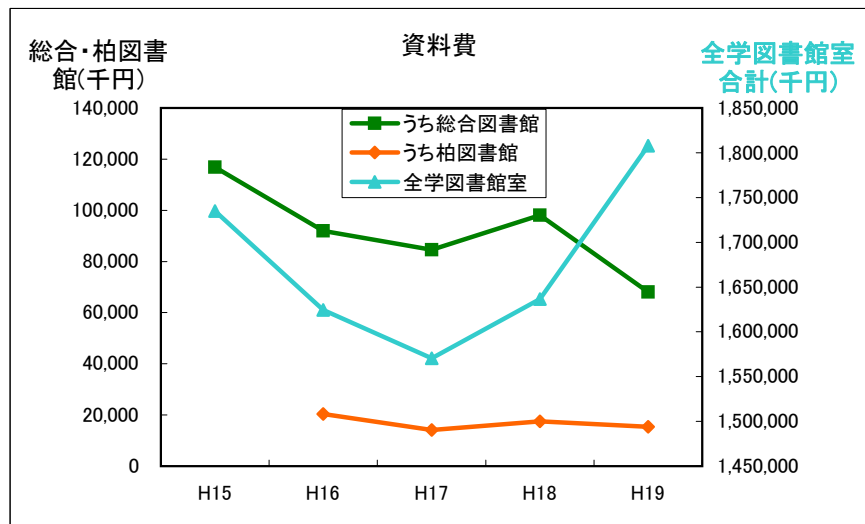
(単位:種類)



2.3 資料費総額

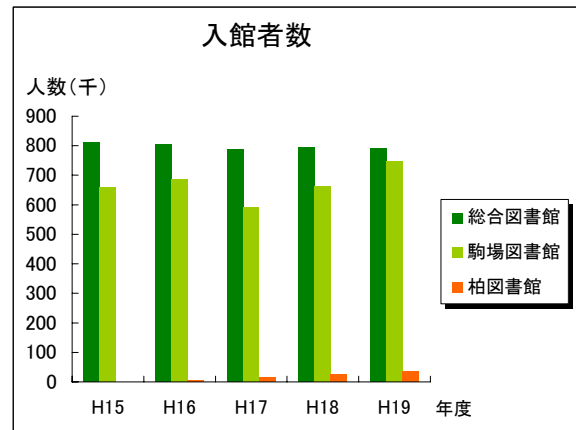
	合計	うち総合図書館	うち柏図書館
平成15年度	1,734,784	116,850	-
平成16年度	1,624,280	91,958	20,412
平成17年度	1,570,300	84,520	14,127
平成18年度	1,636,453	98,034	17,575
平成19年度	1,807,784	68,018	15,340

(単位:千円)



2.4 入館者数(延人数)

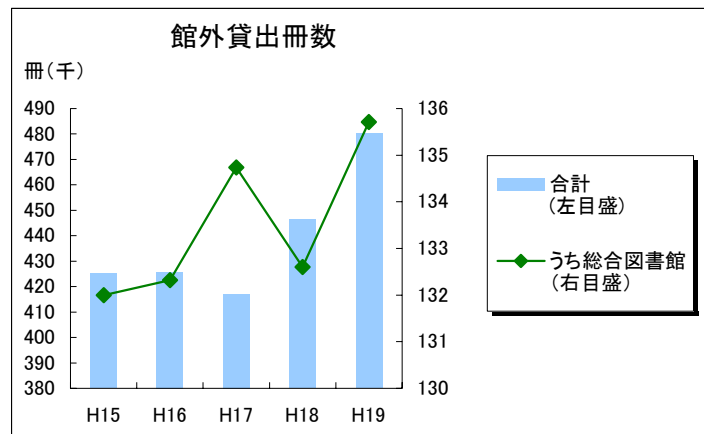
	総合図書館	駒場図書館	柏図書館
平成15年度	812,608	657,926	—
平成16年度	805,096	685,965	5,931
平成17年度	786,145	590,620	13,878
平成18年度	793,822	662,831	24,382
平成19年度	790,767	747,774	35,298



2.5 館外貸出冊数

	合計	うち総合図書館
平成15年度	425,158	131,998
平成16年度	425,683	132,321
平成17年度	416,958	134,736
平成18年度	446,378	132,601
平成19年度	480,162	135,712

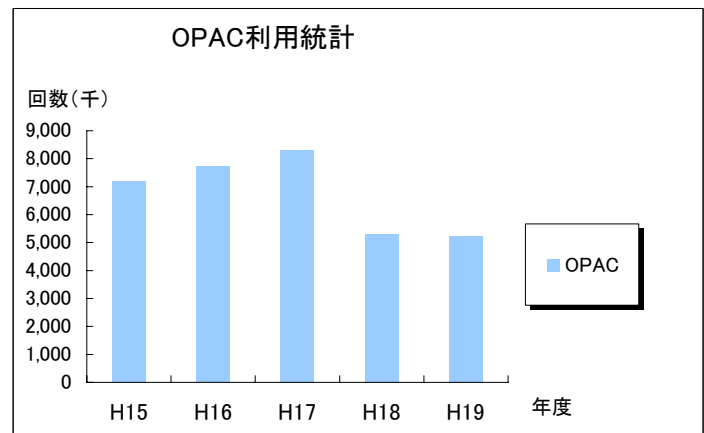
(単位: 冊)



2.6 東京大学OPAC利用統計 (検索実行回数)

	OPAC
平成15年度	7,202,191
平成16年度	7,711,914
平成17年度	8,298,354
平成18年度	5,310,055
平成19年度	5,242,630

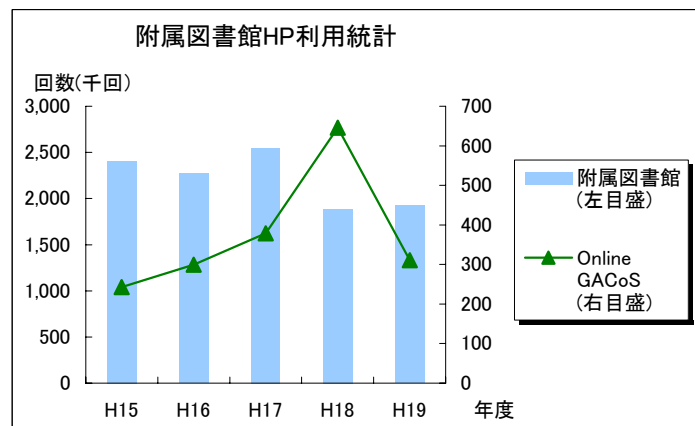
(単位: 回)



2.7 附属図書館ホームページ利用統計 (アクセス回数)

	附属図書館	Online GACoS*
平成15年度	2,406,235	242,786
平成16年度	2,271,602	299,636
平成17年度	2,550,610	378,740
平成18年度	1,885,212	645,842
平成19年度	1,926,386	310,970

(単位: 回)



* GACoS ; Gateway to Academic Contents System